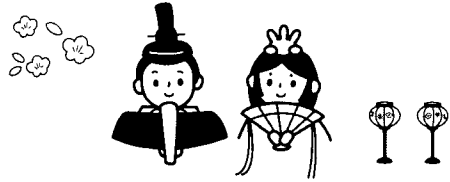


Main menu table with columns for days 1日金 through 18日月. Each column lists menu items and their quantities. Includes labels for '1・2年のみ' and '2・3年のみ'.

3月3日はひなまつり

ひなまつりの行事食



3月3日は、「桃の節句」とも「上巳の節句」とも呼ばれ、女の子の健やかな成長と幸せを願う日です。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降といわれています。それまでは、紙の人形を使って厄を払っていました。桃の節句につられる行事食には、はまぐりのお吸い物やちらしずし、白酒、ひなあられ、ひしもちなどがあります。

はまぐりのお吸い物



はまぐりは対になっている貝殻でないとびつたり合わないといわれていることから、仲の良い夫婦を象徴しており、「将来良い相手にめぐりあえますように」という願いが込められています。

ちらしずし



えび「長生きできるように」、豆「健康でまめに働けるように」、れんこん「先が見通せるように」など縁起のいい具がたくさんかわれており、彩り華やかで食卓に春を呼んでくれるひなまつりの行事食の一つです。

白酒



白酒は元々、中国の桃花酒のことを指していました。桃花酒は「桃の花を浸したお酒」で、桃は邪気を払う意味と、百歳まで生きるという長寿の意味もあり、邪気を払い、不老長寿を願う上巳の節句に飲まれていたといえます。この桃花酒が白酒へと変わったといわれています。 ※「白酒」はアルコール度数10%のお酒で大人しか飲めないで、子どもはノンアルコールの「甘酒」にしましょう。

ひなあられ



昔、ひな人形を持って野山や海辺に出かけ、おひな様に春の景色を見せる「ひなの国見せ」という風習があり、その時にごちそうと一緒に持っていったのがひなあられです。でんぶんが多く健康に良いことから「一年中幸せに過ごせるように」という願いが込められています。

ひしもち



ひし形は「心臓」を表していて、災厄を除こうという願い、親が子どもの健康を願う意味が込められています。桃色のもちは解毒作用があるといわれるクチナシで色付けされていて、白いもちは血圧を下げるといわれるひしの実が入り、緑色のもちは厄除けがあるといわれるよもぎを混ぜています。ひしもちの色や並び順は、地域や家庭によって違う場合がありますが、主には上から桃色、白、緑のもちを重ねたものが多いです。

今年の3月3日は日曜日のため、給食では1日にひなあられが出ます。

Summary table for 1st and 2nd year menus, listing items and quantities.

Summary table for 2nd and 3rd year menus, listing items and quantities.

Summary table for 1st and 2nd year menus, listing items and quantities.

Summary table for 1st and 2nd year menus, listing items and quantities.

Summary table for 1st and 2nd year menus, listing items and quantities.

